

国語科学習指導案（第1校時想定）

単元名：

「芭蕉のよさに触れよう

～夏草『おくのほそ道』から～

（全5時間扱い中 第1時）

授業日時 令和3年11月5日（金）第2校時

授業学級 3年B組

授業会場 3年B組教室

授業者

指導者

(1) ねらい【C読むこと(1)イ】

「おくのほそ道」に出会い、作品や作者(松尾芭蕉)について興味、関心をもつ。

(2) 授業のポイント

・場面：「おくのほそ道」に出会い、作品と松尾芭蕉についての情報を得る。

・活動：「NHK for school 10min. ボックス」の「おくのほそ道」を視聴し、教師と共に背景知識を得る。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 「おくのほそ道」について知っていることを問う。	◇「おくのほそ道」が松尾芭蕉の長旅で体験したことを記した紀行文であり、「紀行文の最高傑作」と言われていることを確認する。	7分
	【単元の学習問題】 おくのほそ道の魅力とはなんだろう。		10分
	2. 「NHK for school 10min. ボックス」の「おくのほそ道」を視聴する。	◇「おくのほそ道」の成立やジャンル、作者などについて動画から確認する。 ◇動画中の芭蕉の俳句が紹介される場面では復唱し、芭蕉が旅で感じたことを詠んだことを確認する。	
	【学習問題】 芭蕉の旅に対する想いはどのようなものだろうか。		
展開	3. 「旅立ち」の場면을音読し、「旅立ち」の場面における大まかな内容、作品背景を確認する。	◇教師が二度読んだ後、音読の際に必要な漢字の読みを確認し、生徒と一緒に一度音読させたあとにそれぞれで複数回自由に音読するように促す。 ◇教科書に掲載されている現代語訳と本文を照らし合わせながら、大まかな内容を確認し、教科書に掲載されていない芭蕉と門人曾良の関係性などについて追加で確認する。	15分
	4. 学習問題における現時点での自分の考えをまとめる。	◇「旅立ち」の場面の内容、背景知識を踏まえた上で、「おくのほそ道」にはどのような魅力があるのかを現時点の知識で考察するように促す。 【評価】「おくのほそ道」の魅力について自分の考えをまとめている。(観察・ワークシート)	11分
終末	5. 振り返りをする。	◇「おくのほそ道」の魅力について現時点での考えを発表するように促す。	7分